

学び

佐藤 一斎の
三学の精神



伊藤文庫
図書館
TEL 2515120

募集

子ども司書講座の受講生

本や図書館に興味がある方
や、友達に読書を広めたいと
思っている方は、ぜひ参加く
ださい。

□とき 7月22日～8月19日
(8月12日を除く毎週金曜日)
午前9時半～11時半(全4回)
□ところ 市中央図書館
□対象 市内の小学校5～6
年生
□定員 20人(申し込み多数
の場合は抽選)
□講師 図書館司書
□料金 無料

新しく入った本

(4月13日～5月14日受け入れ新刊約415冊)

●一般書
小さな本の大きな世界(長田弘/著)
戦場カメラマンの仕事術(渡部陽一/著)
学びとは何か(今井むつみ/著)
大橋鎮子と花森安治『暮らしの手帖』二人三脚物語(塩澤
実信/著)
清掃はやさしさ(新津春子/著)
名古屋の商店街(大竹敏之/著)
求人詐欺(今野晴貴/著)
保健室の恋バナ+α(金子由美子/著)
知性だけが武器である(白取春彦/著)
草と暮らし(かわしまようこ/著)
奇妙な菌類(白水貴/著)

●児童書
きかんしゃホブ・ノブ(ルース・エインズワース/作)
まだかなまだかな(竹下文子/作)
うまれたよ!クマノミ(大方洋二/写真・文)
こうまくん(きくちちき/作)
ぶっぶぶぶ(いしづちひろ/作)
ちいさなきしゃ(五味太郎/作)
ひろったらっば(新美南吉/作)
こぎのシャロット(さえずさひろこ/文)
モカと幸せのコーヒー(刀根里衣/著)
しましまかしてくだい(林なつこ/作)
おかんとおとん(平田昌広/文)
ろってちゃん(ディック・ブルーナ/文・絵)

案内

「本を見て、読んで非日常へ」展

市中央図書館の「ぴっく
あっぷコーナー」では、世界
の絶景など夢のような美しい
景色の写真集や、空想の世界
に連れて行ってくれるファン
タジー小説、また夏の定番イ
ベント、バーベキューやキャ
ンプ、釣りの本などを集めま
した。いつもとはちよつと違

明智コミセン英語えほ んおはなし会・古本市

毎月第3日曜日の恵那市読
書の日に合わせ、ALTによ
る「英語えほんおはなし会」
と、図書館や家庭で不要に
なった本を有効活用してい
た
だくため、無料で古本をお
渡
する「古本市」を開催しま
す。

□とき 7月17日(日)午後1時
～午後4時
□ところ 明智コミセン
(休館日を除く)

図書館サポーターえな 活動紹介

市中央図書館が開館した7月7日を
記念して、ことしも7月から8月にか
けて「天の川イベント」を開催します。
図書館サポーターえなでは、イベント
の開催に向け実行委員会を組織し、イ
ベント内容を企画しています。

オープニングイベントとして7月9
日(土)、10日(日)に恒例の「古本市」を
開催します。図書館で不要になった本
や市民の皆さんから募集した古本を無
料で譲りますので来場ください。その
他多数のイベントを期間中に開催しま
す。

学校巡回担当からのお知らせ

市では平成22年度から、3人の司書が市内に22校ある小
中学校を巡回して、子どもたちの
読書活動を支援しています。



司書の仕事は本の整理や修理は
もちろん、絵本の読み聞かせや、
テーマに合わせた本の紹介(ブッ
クトークと言います)をしていま
す。新しく買う本を選んだり、借りられるように準備したりも
しています。本を使った調べ学習ができるように必要な本を用
意したり、子どもたちと一緒に調べたりもします。その学校に
いないときは、他の学校に行っています。

一人でも多くの子どもたちに「本って面白い!使える!役に
立つ!」と思ってもらえるよう、学校図書館の充実を目指して、
支援をしています。

司書のおすすめ本

毎月第3日曜日は
「恵那市読書の日」
7月は17日です



『最後の万歳師』 日川好平/著

風媒社 <289.1/キ>

尾張万歳は重要無形民俗文化財
に指定されている江戸時代から続
く民俗芸能です。

しかし、後継者不足に悩まされ
て消滅の危機にあります。演じる人も道具も衣装も
無くなっていく中で、途絶えさせないように情熱を
注ぐ人々のお話です。



『えんぴつの約束』 アダム・ブラウン/著 飛鳥新社 <373/フ>

著者は一流企業を辞め、貧困地
域に学校を建てる「ペンシル・オ
ブ・プロミス」という組織を立ち
上げます。旅先の子どもの「えん
ぴつがほしい」という言葉が忘れられなかったから
です。

大きな夢を達成する姿に胸が熱くなります。



『105歳の料理人ローズの 愛と笑いと復讐』 フランツ＝オリヴィエ・ジズベ ル/著 河出書房新社 <953.7/シ>

アルメニア人というだけで家族
を殺された悲しい過去を持つおば
あさんの人生を描いた一冊。美貌
と料理を武器にして生涯を生きていく様子は、たく
ましい。現在も続く人種による差別。人種問題につ
いても考えさせられます。

7月のイベント

おはなし会

□とき 毎週火曜日午前10時半～、
毎週土曜日午後2時～
□ところ 中央図書館おはな
しの部屋

「司書おすすめ本」館内展示

□とき 7月17日(日)
□ところ 中央図書館ぴっく
あっぷコーナー近く

恵那市読書の日 イベント

□とき 7月17日(日)
□ところ 明智コミセン
□内容 古本市、ALTによ
る英語えほんおはなし会
ミニ茶会
□とき 7月17日(日)午後2
時～
□ところ 中央図書館和室

物知りおじさんの ふるさと情報

耳より

今月の物知りおじさん
つげ いさお
柘植 功さん
(中野方町)85歳
くわがしらの会(前会長)

しょうえもん しょうどう 丈右衛門 新道



明治5年に付知村
(現中津川市)の富豪
牧野丈右衛門は、辺
な村と林産物などの将
来を見据えて、橋のな
い山道を通して黒瀬ま

での近道を計画。付知、福岡、中野方を通り福地
からは黒瀬街道を利用する幅2km、距離40kmの
新道を自費で完成させた。測量器具などない時代、
丈右衛門はたいまつをともして高さを測量し、容
器に水を入れて水平を見るなど苦心を重ねた。明
治10年秋、5年の歳月をかけ新道はできたが、
多額の借金に苦しみ、国や県の助成も無く、万策
尽きた丈右衛門は東京からの帰途、泊まった宿で
失意と疲労のため65歳の生涯を閉じた。

3年前、付知町の住民から新道を歩く会を提
案され、中野方分の雑木などを切り看板を立て、
付知と中野方で20人程が散策した。広い石積み
の残る茶屋跡で昼食を取りながら、明治に夢を懸
け苦闘しながら総じて裏目に出た丈右衛門の悲運
をしのんだ。

●6月の休館日							●7月の休館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
※30日(日)は図書整理ため休館							31						
							※19日(火)は祝日振替のため休館						

5月の来館者数

28,352人

5月の貸出冊数

24,658冊

